

わたしたちの前世, 現世, 永遠の家族

わたしたちの前世の家族

「家族は神によって定められたものである。家族はこの世と永遠にわたって最も大切な単位である。わたしたちは地上に生まれる前においても一つの家族の一員であった。わたしたちは皆、『神の属性と神聖な行く末』を持つ『天の両親から愛されている霊の息子, 娘』である〔「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129〕。神はわたしたちの天の御父であられ、わたしたちは前世で神の家族の一員として神の前で生活していた。わたしたちはそこで最初の教えを学び、死すべき世のために備えられた(教義と聖約138:56参照)。)(『手引き 第2部—教会の管理運営』1.1.1)



「わたしたちは宇宙を創造された偉大なる神を礼拝します。神は天におられるわたしたちの御父です。わたしたちは神によって存在するようになりました。わたしたちは神の霊の子供です。わたしたちは前世において家族関係の中でともに住んでいました。わたしたちは、この世の自分の父親を知っているのと同じくらい、身近に、親しく、神を知っているのです。」(ブルース・R・マッコンキー, How to Worship, Brigham Young University Speeches of the Year〔1971年7月20日〕, 2)

話し合いのための質問—

- 家族はどのような点でわたしたちの前世の中心となる部分だったのでしょうか。
- そのことは、神が自分の父親であることや、前世において自分は神の家族の中で神に愛されていたことを知るのにどのような助けとなるのでしょうか。
- 天の両親とあなたの交流はどのようなものだと想像しますか。

わたしたちの現世の家族

「天の御父の計画に基づき、わたしたちは家族のもとに生まれました。天の御父は、わたしたちに幸福をもたらし、愛にあふれる環境の中で正しい原則を学ぶのを助け、永遠の命に備えさせるために家族を定められた。

親には、子供が天の御父のもとに帰る準備をするのを助けるという大切な責任がある。イエス・キリストに従い、主の福音に沿って生活するよう子供に教えることによって、親はこの責任を果たす。)(『手引き 第2部—教会の管理運営』1.1.4)



「神は家族の造り手です。最大の幸せ、一番の充足感、最も深い喜びは、父親、母親、子供として互いに気遣い、ともに生活する中から生じるように計画されました。」(ゴードン・B・ヒンクレー『「神が合わせられたもの」』『聖徒の道』1991年7月号, 75)

話し合いのための質問—

- 家族はどのような点でわたしたちの現世の中心となる部分なのでしょうか。
- 父親、母親、きょうだい、先祖、子孫などの家族関係がまったくなく個々に皆が地上に送られたとしたら、地上での生活はどのように変わってくるのでしょうか。
- 現世における家族の役割や重要性を理解するために、どのような経験が助けとなりましたか。

わたしたちの永遠の家族

「神の幸福の計画は、家族関係が墓を超えて続くことを可能にしました(「家族—世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129)。」



「個人の救いは一人一人の従順さにかかっていますが、同じように大切なのは、誰もがなくてはならない家族の一員であり、最高の祝福は永遠の家族の中でしか受けられない、という点を理解することです。家族が神の意図されたとおりに機能するなら、そこに見いだされる関係はこの世で最も大切なものとなるでしょう。御父の計画では、家族の愛と親しい交わりは永遠に続きます。しかし家族の一員であるということには、世話をし、愛情を注ぎ、家族同士で励まし合い、力づけるという大きな責任が伴います。家族全員が義にかなった状態で現世を最後まで堪え忍び、永遠にわたってともに住めるようにするためです。自分自身を救うだけでは十分ではありません。親、兄弟、姉妹が家族の中で救われることも、同じように大切なのです。天

父のみもとに独りで戻るなら、こう尋ねられるでしょう。『あなたの家族はどこにいますか。』家族が永遠であると教えているのはこのためです。個人の存在が永遠であるために家族の存在も永遠です。(ロバート・D・ヘイルズ「永遠の家族」『聖徒の道』1997年1月号, 73-74)

話し合いのための質問—

- 家族はどのような点でわたしたちの永遠の行く末の中心となる部分なのでしょう。
- 自分以外の家族に救いをもたらすために、家族が行える義になつた行いにはどのようなものがあるのでしょうか。
- 最後まで堪え忍べるよう靈感を与える方法で、家族があなたを高めたり強めたりしてくれたのはどのようなときでしたか。

